


1

  
 国立国語研究所  
 National Institute of Japanese Language and Linguistics

## 鹿児島方言の疑問文 タイプとイントネーション

窪園晴夫 (国語研)  
 kubozone@ninja.ac.jp  
 2014/3/20  
 疑問文プロジェクト発表会

2

### Goals

- 背景: 語レベルのプロソディー(語アクセント)と文レベルのプロソディー(疑問文、呼びかけ文...)の相互作用
- 「下降調」と言われる鹿児島方言の4つのタイプの疑問文(Wh、Yes/No、間接、修辞)について音声的異同を明らかにし、違いや変種(新種)が生じる言語学的理由を考察する。
- Wh疑問文とYes/No疑問文の違いを起点に、フォーカスとプロソディー(アクセント、イントネーション)との関係を考察する。
- 4つの文型
  - ・Wh: 誰が行ったか?
  - ・Y/N: 誰が行ったか?
  - ・間接: 誰が行ったか、わからん。
  - ・修辞(反語): 誰が行ったか! (誰も行ってない)

3

### 鹿児島方言のプロソディー

- 2型アクセント体系(A型、B型) [⇔多型A体系]
  - (A) あめ(飴)、おなご(女)、あまざけ、なつやすみ
  - (B) あめ(雨)、おとこ(男)、あさがお、はるやすみ
- シラブル単位 [⇔モーラ単位]
  - (A) けだも.の~けだ.もん、けむ.り~けむい、
  - (B) にわ.と.り~にわ.とい、まえ.ぞの~まえ.ぞん
- 複合法則: left-dominant [⇔right-dominant]
  - (A) なつ~なつふく(夏服)、なつやすみ(夏休み)
  - (B) はる~はるふく(春服)、はるやすみ(春休み)

4

### 鹿児島方言のプロソディー

- アクセントのdomain=文節、アクセント句(#語)
  - (A) 夏休み
 

{なつやすみ}	cf. 東京方言
{なつやすみが}	なつやすみ
{なつやすみから}	なつやすみが
  - (B) 春休み
 

{はるやすみ}	なつやすみから
{はるやすみが}	
{はるやすみから}	

5

### 文節とフレーズ

- 私の名前は山田太郎です。
  - {わたし}A {なまえ}A {やまだ}B {たろう}A
  - {わた.し.の} {な.ま.え.は} {や.ま.だ} {た.ろ.う} {で.す}
- 太郎<sub>A</sub>か花子<sub>B</sub>
  - {たろう}か {はなこ}、\* {たろう}か {はなこ}
- (あれは)太郎か?花子か?
  - {たろう}か {はなこ}か?、\* {たろう}か {はなこ}か?
- (あれが)太郎か、わからん。
  - ... {たろう}か {わからん}、\* ... {たろう}か ...

6

### 例外(1)語彙化

- {よか}:
  - {よかにせ}、{よかおとこ}、{よかおなご}、{よか天気}
  - ? {よか} {にせ}、{よか} {おとこ}、{よか} {おなご}
  - {かとうせんせい}、\* {かとう} {せんせい} (加藤先生)
  - {かとう} {ちゃ} ~ {かとう} {ちゃ} (加藤茶)
  - {さいごう} {たかもり} ~ {さいごう} {たかもり} (西郷隆盛)
  - {もり} {しんいち} vs. {もりしんいち} (森進一)
  - cf. {くぼぞの} {はるお}、\* {くぼぞの} {はるお} (窪園晴夫)

## 例外(2) 属格「が、の」の縮約(語彙化)

「が」

- ・ [おいが]<sub>A</sub>[いえ]<sub>B</sub> ~ [おいげえ]<sub>A</sub>、\* [おい][げえ]
- ・ [わいが]<sub>B</sub>[いえ] ~ [わいげえ]<sub>B</sub>、\* [わい][げえ]
- ・ [あたいが][いえ] ~ [あたいげえ]、\* [あたい][げえ]
- ・ [おいが][なまえ]、\* [おいがなまえ]

「の」

- ・ [この][ひと] ~ [こん][ひと] ~ [こんひと]
- ・ [この][しょうちゆう] ~ [こん][しよちゆ]、\* [こんしよちゆ]
- ・ [となりの][おっさん] ~ [となりん][おっさん]、  
\* [となりんおっさん]

## 例外(3) 「ヲ」脱落

- ・ 鹿児島方言では格助詞は脱落しない(省略できない)。
- ・ 「ヲ」だけが、「...しに行った/来た」の文脈(だけ)で脱落する。
- ・ 「ヲ」の脱落に伴い、アクセント句の融合が起こる。
- ・ [さくらを][見け][行った]  
\* [さくらを見け][行った]
- ・ [さくら見け][行った]  
\* [さくら][見け][行った]
- ・ [とうふを][こけ][行った]  
[とうふこけ][行った]
- ・ [べんきょうを][しけ][行った]  
[べんきょうしけ][行った]

## 着眼点

- ・ 4文型: Wh疑問文、Y/N疑問文、間接疑問文、修辞疑問文
- ・ Wh疑問文: [誰が][行った]か?  
・ Whのアクセント型: (A型) 誰(だい)が、いつ(いつ)  
(B型) 何を(なに)を、どこで、どげん
- ・ 動詞のアクセント型と長さ:  
(A型) 行っ、行った、呼んだ、呼び出した、呼びました...  
(B型) 来っ、来た、読んだ... 読み出した、読みました...
- ・ 終助詞の種類・有無(...か、...け、...ね、...よ、...ゼロ)

## 調査概要

- ・ 2013年7月、9月(+2014年2月)
- ・ 鹿児島県鹿児島市&薩摩川内市
- ・ 1:1の対面方式
- ・ 中高年層話者8名(男性5人、女性3人)
- 1. KN(女、1930年、鹿児島市生、薩摩川内市在住)
- 2. HY(男、1935年、薩摩川内市生&在住)
- 3. HS(女、1936年、鹿児島市生、薩摩川内市在住)
- 4. AK(男、1936年、始良市生、薩摩川内市在住)
- 5. AA(女、1938年、薩摩郡薩摩町生、薩摩川内市在住)
- 6. KT(男、1948年、鹿児島市生&在住)
- 7. KK(男、1953年生、鹿児島市生&在住)
- 8. NZ(男、1956年生、薩摩川内市生&在住)

## 調査概要 ○男性 □女性(出生地別)



## 文末詞のイントネーション

- ・ Wh+か?
- ・ A型: [こや]、[だい]か? (これは誰か?)  
[こや]、[いつ]か? (これはいつか?)
- ・ B型: [こや]、[ない]か? (これは何か?)  
[こや]、[どこ]か? (これはどこか?)  
⇒必ずしも「下降」ではない
- ・ 文末詞「か」の音調  
[こや]、[ない]か? (何か) [あお]か? (青か?)  
≠[こや]、[ないか]。(内科) ≠[あか]か。(赤い)

## 疑問文末詞のタイプ

相手に対する使い分け

「ね/の」/「け」「か」「よ」  
 丁寧度: 高い ←————→ 低い  
 話者: 女性 ←————→ 男性  
 相手: 女性 友人 妻、弟  
       孫          息子 後輩  
                   娘  
 ピッチ: 高い ←————→ 低い

## 1. Wh疑問文のプロソディー(基本形)

- A型 [誰が][行った]か? ↓  
 \* [誰が][行ったか]? ↓  
 [誰が][呼んだ]か? ↓  
 \* [誰が][呼んだか]? ↓  
 [誰が][行った]? ↓
  - B型 [誰が][来た]か? ↓  
 [誰が][読んだ]か? ↓
- 「か」は独立する。

## Wh疑問文 vs. 修辞疑問文

A型

- [誰が][行っ]か? (=誰が行く?) ↓
- [誰が][行っ]か! (=誰も行かない)
- [誰が][呼ん]か? (=誰が(あいつを)呼ぶ?) ↓
- [誰が][呼ん]か! (=誰が呼ぶものか) ↓

B型

- [誰が][来っ]か?
- [誰が][来っ]か! ↓
- [誰が][読ん]か?
- [誰が][読ん]か! ↓

## 2. 直接疑問文と間接疑問文(A型)

- 誰[だれ]~[だい]、[行った]
- 直接疑問: 「か」は独立する  
 [誰が][行った]か?  
 \* [誰が][行ったか]? ↓
- 間接疑問: 「か」は独立しない  
 [誰が][行ったか][わからん] ↓  
 \* [誰が][行った]か[わからん]  
 cf. [太郎か][花子]

## 直接疑問文と間接疑問文(B型)

- 誰[だれ]~[だい]、[来た]
- 直接疑問: 「か」は独立する  
 [誰が][来た]か?
- 間接疑問: 「か」は独立しない  
 [誰が][来たか][わからん] ↓  
 \* [誰が][来た]か[わからん]

## 直接疑問文 vs. 間接疑問文(まとめ)

- 直接疑問文と間接疑問文ではフレーズングが異なる。疑問文の「か」に2種類ある。
- 間接疑問文の「か」は先行要素と同じアクセント句に入る。  
 (A)直接 [誰が][行った]か?  
       間接 [誰が][行ったか][わからん]?  
 (B)直接 [誰が][来た]か?  
       間接 [誰が][来たか][わからん]?

### なぜ間接疑問文では「か」が取り込まれるか？

#### 東京方言

- 誰が来た(の)？ [「の」またはゼロ、上昇調]
- 誰が来たか、わからない。 [「か」、非上昇調＝順接]
- 助詞が異なる + 疑問文は文末上昇調

#### 鹿児島方言

- 誰が来た(か)？ [「か」「ね」「け」ゼロ、下降調]
- 誰が来たか、わからん。 [「か」、]
- 助詞が同じ + 疑問文は非上昇調  
⇒ 区別困難  
⇒ フレージングの違いで表す

### 3. Wh疑問文 vs. Y/N疑問文(基本形)

- (A) [誰が] [行った]か？ (↑=Focus)
- ↑
- [誰か] [行った]か？
- ↑
- (B) [誰が] [来た]か？
- ↑
- [誰か] [来た]か？
- ↑

### 変種の「誰か」(B型化)

- (A) [誰が] [行った]か？
- [誰か]<sub>A</sub> [行った]か？
- ～ [誰か]<sub>B</sub> [行った]か？
- (意味・ニュアンスは変わらない)
- (B) [誰が] [来た]か？
- [誰か]<sub>A</sub> [来た]か？
- ～ [誰か]<sub>B</sub> [来た]か？
- cf. [いつか]<sub>A</sub> → [いつか]<sub>B</sub>
- cf. [何か]<sub>B</sub> [どこか] e不変

### 変種のパターン(赤印)

- KN(女、1930年、鹿児島市生、薩摩川内市在住)
- HY(男、1935年、薩摩川内市生 & 在住)
- HS(女、1936年、鹿児島市生、薩摩川内市在住)
- AK(男、1936年、始良市生、薩摩川内市在住)
- AA(女、1938年、薩摩郡薩摩町生、薩摩川内市在住)
- KT(男、1948年、鹿児島市生 & 在住)
- KK(男、1953年生、鹿児島市生 & 在住)
- NZ(男、1956年生、薩摩川内市生 & 在住)

### 「誰か...?」と「誰か...?」

- 不定詞「...か」のアクセントだけ、しかもA型(「誰か」、「いつか」)だけに変異形が出てくる。なぜか？
- Wh疑問文との差異化？アクセントに(も)負担を担わせる？
- 誰が来た(か)？
- 誰か来た(か)？ → (新) 誰か来た(か)？
- 東京方言(イントネーション依存タイプ)
- なにを 飲む？ なにか 飲む？
- 近畿方言(アクセント依存タイプ)
- なにを 飲む？ なにか 飲む？

### 4. Wh疑問文のプロソディー(変種)

- A型 [誰が] [行った]か？
- \* [誰が] [行ったか]？
- [誰が] [呼んだ]か？
- \* [誰が] [呼んだか]？
- B型 [誰が] [来た]か？
- ～ [誰が] [来たか]？ = [[はしか]<sub>B</sub>(麻疹)
- [たかか]<sub>B</sub>(高い)
- = [誰が] [来たか] [わからん]。

25

### 変種のパターン(赤印) ○男性 □女性

26

### 変種のパターン(赤印)

1. KN(女、1930年、鹿児島市生、薩摩川内市在住)
2. HY(男、1935年、薩摩川内市生 & 在住)
3. HS(女、1936年、鹿児島市生、薩摩川内市在住)
4. AK(男、1936年、姶良市生、薩摩川内市在住)
5. AA(女、1938年、薩摩郡薩摩町生、薩摩川内市在住)
6. KT(男、1948年、鹿児島市生 & 在住)
7. KK(男、1953年生、鹿児島市生 & 在住)
8. NZ(男、1956年生、薩摩川内市生 & 在住)

27

### Wh疑問文のプロソディー(変種)

- 意味やニュアンスが異なるか？
- {**誰か**}[来た]か？      {**誰が**}[来た**か**]？
- ←————→ 丁寧
- ←————→ 本気で尋ねる
- 話者の世代差、男女差は？
- 老年層 ←————→ 中年層
- 男性     ←————→ 女性

28

### 事実のまとめ

- Wh疑問文では文末のB型要素に新種のパターン(旧来の文節を超えた、間接疑問文と同じ型)が現れる。
- (A) {**誰か**}[**行った**]か？
- {**誰が**}[**行った**]か？
- (B) {**誰か**}[**来た**]か？
- {**誰が**}[**来た**]か？
- ~ {**誰が**}[**来たか**]？
- {**ど**い**か**}[**はるお**]か？
- ~ {**ど**い**か**}[**はるお**か****]？

29

### なぜWh疑問文で起こる？

- Post-focal Re/dephrasing (下線=Focus)
- 誰か[**来た**]か？    ⇔ 誰が[**来た**]か~[来た**か**]？
- 太郎は[**来た**]か？   ⇔ 太郎が[**来た**]か~[来た**か**]？
- もう[**来た**]か？      ⇔ もへ[**来た**]か~[来た**か**]？
- もう[**来た**]ど。      ⇔ もへ[**来た**]ど~[来た**ど**]。
- 先生が[**来た**]ど。   ⇔ 先生が[**来た**]ど~[来た**ど**]！
- こや、[**本**]か？      ⇔ こや、[**誰が**][**本**]か~[本**か**]？
- こや、[**学校**]か？   ⇔ こや、[**どこ**ん][**学校**]か
- ~[学校**か**]？

30

### なぜフォーカスの後ろで？

- Post-focal reduction/compression (Ishihara 2011, etc.)
- Focusに後続する場所は、(ピッチ域が非常に狭く・低くなり)、phrasingの再編(融合)が起こる。
- 東京方言
- 太郎は花子と京都に行ったの？
- 誰**が** 花子と京都に行ったの？
- ↑                  ↓
- 福岡方言 (Hwang 2011)
- [誰**か**] [ドイツ**に**] [行った**と**]？
- [誰**が**ドイツ**に**] [行った**と**]？
- 韓国語ソウル方言

31

### なぜB型だけ？

- 仮説:「か」の上昇とHigh Tone Clash

A型

[誰が] {行った} か？  
[誰が] {行った} か？

B型

[誰が] {来た} か？  
[誰が] {来た} か？  
[誰が] {来た} か？ = [誰が] {来た} か？

cf. Stress clash (英語他): J<sup>a</sup>p<sup>a</sup>n<sup>e</sup>s<sup>e</sup> p<sup>e</sup>o<sup>p</sup>l<sup>e</sup>

32

### 文末詞のピッチ上昇⇒変種の出現

#### 3つの論拠

- 相補分布
  - 「か」が依然として低い話者  
[誰が] {来た} か？
  - 「か」を高く発音する話者  
[誰が] {来た} か？
- 文末詞「よ」: [-丁寧]な文末詞「よ」は常に低く付くが、この場合には変種は現れない。  
E.g. こや、[誰が] {本} よ？ \* {本} よ？
- 文末詞「ね」「の」: [+丁寧]な文末詞「ね」「の」は高くなりやすく、変種が現れやすい。  
E.g. [誰が] {来た} ね/の？  
? [誰が] {来た} ね/の？

33

### なぜ疑問文末詞は上昇したか？

- (1) 修辞疑問文との区別、(2) 標準語の影響？

A型

[誰が] {行った} か？ ⇔ (修辞) [誰が] {行った} か！  
[誰が] {行った} か？

B型

[誰が] {来た} か？ ⇔ (修辞) [誰が] {来た} か！  
[誰が] {来た} か？  
[誰が] {来た} か？ = [誰が] {来た} か？

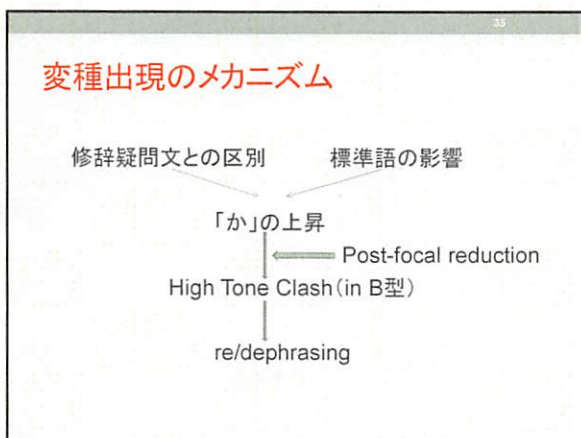
34

### 解釈(まとめ)

- なぜFocusに後続する場所だけで変種が現れる？  
⇒Focusに後続する場所は、ピッチ域が非常に低くなり、ピッチの変動(とその弁別)が難しくなる。
- なぜB型語だけに現れるか？  
⇒B型の語が持つ句末のHighと文末詞のHighが衝突する。  
⇒A型語はHigh-Lowという音調を持つので後続する文末詞のHighと衝突しない。
- なぜB型語+疑問文末詞「よ」では変種は現れないか？  
⇒「よ」は常にLowで現れるから。

(まとめ)

A型(HL) + High      A型(HL) + Low  
B型(LH) + High      B型(LH) + Low



36

### 総まとめ

	A型	B型
修辞!	[誰が] {行った} か！	[誰が] {来た} か！
Wh疑問文	[誰が] {行った} か？	[誰が] {来た} か？ ~ [誰が] {来た} か？
YN疑問文	[誰か] <sub>A</sub> {行った} か？ ~ [誰か] <sub>B</sub> {行った} か？	[誰か] <sub>A</sub> {来た} か？ ~ [誰か] <sub>B</sub> {来た} か？
間接疑問文	[誰が] {行った} か {わからん}	[誰が] {来た} か {わからん}

37

### まとめ(1)

- ・鹿児島方言の疑問文イントネーションは必ずしも下降調ではなく、基本はMid(中途半端に低い)。  
[こや]{だい}か? = [こや]{ない}か? (≠内科)
- ・[誰が]{行った}か? = [誰が]{来た}か?  
[誰か]{行った}か? = [誰か]{来た}か?
- ・文末詞がないと、下降調がデフォルト。  
[誰か]{行った}?      [誰か]{行った}?  
[誰か]{来た}?      [誰か]{来た}?

38

### まとめ(2)

- ・直接疑問文と間接疑問文ではフレーズングが異なる。疑問文の「か」に2種類ある。
- ・間接疑問文の「か」は先行要素と同じアクセント句に入る。おそらく直接疑問文と区別するため。  
(A)直接 [誰が]{行った}か?  
間接 [誰が]{行った}[わからん]?  
(B)直接 [誰が]{来た}か?  
間接 [誰が]{来た}[わからん]?  
cf. [たろう]か? vs. [たろう]か[はなこ]

39

### まとめ(3)

- ・A型の「誰」「いつ」はWh疑問文ではA型で現れるが、Y/N疑問文ではB型で現れることがある。
- ・おそらくWh疑問文との違いをより明確にするため。イントネーション依存タイプ⇒アクセント併用タイプ  
Wh [誰が]<sub>A</sub>{行った}か?  
Y/N [誰か]<sub>A</sub>{行った}か? ~ [誰か]<sub>B</sub>{行った}か?  
[いつか]<sub>A</sub>{行った}か? ~ [いつか]<sub>B</sub>{行った}か?  
cf. Wh [何が]<sub>B</sub>{行った}か?  
Y/N [何か]<sub>B</sub>{行った}か?

40

### まとめ(4)

- ・Wh疑問文では文末のB型要素に変種のパターン。  
[誰が]{来た}か? ~ [誰か]{来た}か?  
cf. [誰が]{行った}か?  
[どいが]{はるお}か?  
~ [どいが]{はるお}か?  
cf. [どいが]{たろう}か?  
・これはフォーカスに条件づけられている (post-focal rephrasing, focus effect on prosodic phrasing).  
→フォーカスの後は低い  
・修辞疑問文との区別、標準語の影響  
⇒「か」の上昇  
⇒ B型でHigh Tone Clash

41

### References (selected)

- 平山輝男 (1951) 『九州方言音調の研究』 学界の指針社。
- Hwang, Hyun Kyung. 2011. *Scope, prosody, and pitch accent: The prosodic marking of Wh-scope in two varieties of Japanese and South Kyeongsang Korean*. Ithaca: Cornell University dissertation.
- Ishihara, Shinichiro. 2011. Focus prosody in Tokyo Japanese wh-questions with lexically unaccented wh-phrases. In *Proceedings of the 17th International Congress of Phonetic Science (ICPhS XVII)*, 964–969.
- 木部暢子 (2000) 『西南部九州二型アクセントの研究』 勉誠出版。
- 木部暢子 (2010) 「イントネーションの地域差」 小林隆・篠崎晃一 (編) 『方言の発見』 1-20. ひつじ書房。

42

### References (selected)

- 窪田晴夫 (2011) 「アクセントとイントネーション」 『人間文化』 13, 11–16.
- Kubozono, Haruo (2012) Word-level vs. sentence-level prosody in Koshikijima Japanese. *The Linguistic Review* 29, 109–130.
- Kubozono, Haruo. (forthcoming) Post-lexical tonal neutralizations in Kagoshima Japanese. In H. Kubozono (ed.), *Tonal Neutralizations*.
- Rialland, Annie (2007) Question prosody: an African perspective. In T. Riad & C. Gussenhoven (eds.), *Tones and tunes. Volume 1: Typological studies in word and sentence prosody*, 35–62. Berlin: Mouton de Gruyter.